



今回は、1996年創刊・メガネ専門誌のパイオニア『モード・オプティーク』編集長の松崎様にお話を伺いました！

松崎様が編集長になられたのは約11年前。当時視力が良かった松崎様はメガネやコンタクトレンズには縁がなかったそうですが、この1年で日常的にメガネをかけるように。そのきっかけと今のお気に入りメガネについて聞いてみました。

=====

Q メガネをかけるようになったきっかけを教えてください。

A 手元が見づらくなってきたからです。

Q 初めてのメガネはどんなメガネでしたか？

A 初めてのメガネで“メガネをかけている自分”に慣れなかったので、肌なじみの良いベージュのフレームを眼鏡スタイリストさんのアドバイスのもと選びました。また、私は目と目が人より近いので鼻幅が狭いタイプのほうがしっくりくることに気が付きました。

Q お気に入りのメガネを教えてください。

A 今使っているメガネは4つあります。革のフレームと黒のメタル2種とベージュのもの。中近に調光レンズを入れたメガネは、子どもの保育園の送迎時や通勤時にはサングラスになり、オフィスについたら普通のメガネに変身するのでとても便利です。

革のフレームは普段茶系の洋服を着ないので、メガネを主役にしたコーディネートや茶系の靴と合わせて楽しんでいます。

Q 松崎さんにとってメガネとは

仕事上、デザイナーさんのお話を伺う機会があるので「このメガネはこんな背景や考えから生まれたんだ」とその想いに共感できるメガネに魅かれます。細部まで職人さんやデザイナーさんのこだわりが詰まっているモノには力があります。

=====

今ではメガネを選びかける事が“楽しみ”になったそう。
洋服を選ぶようにメガネを選びその日の気分をあげる。
「メガネって初めてかけるときは、似合うかなとドキドキするんですけど1週間でなれますよ。メガネをかけている自分の顔が当たり前になる」
私の中で松崎様の印象は《オシャレなメガネを使いこなす松崎様》です。

